

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

もうすぐ国体。私は2日間だけですが、ボランテアに参加します。どんな出会いが待っているか、楽しみにしています。また、先日、町内の盆踊り大会で「きらめくスギツチ」と題して10人の仲間と踊り、団体1位に！この夏いちばんの思い出です(きらめくスギツチさん 土崎)

8月5日、竿燈大通りで国体の炬火(きよか)リレーを見ました。市長さんたち、はりきっていましたよ。その後、炬火を採火した、弥生「こ村」に行つて、地藏田遺跡を見てきました。秋田にも弥生時代の遺跡が残っていることを実感してきました(リリーさん 68歳・濁川)

家型トレーラーハウスがオープンした記事を見ました。ザ・ブーンにはときどき行つていますが、今度はトレーラーハウスに泊まつてから、ザ・ブーンに行きたいです(鈴木真緒さん 9歳・土崎)

去年の秋に引越してきたので、初めて竿燈まつりを見ました。きれいでカッコ良く、差し手のお兄さんにとりしちやいました(しのつちさん 47歳・東通)

今年8月、仙台からの単身赴任で、秋田市にお世話になることになりました。竿燈を家族で見ることができ、感動しました。国体も楽しみです(単身赴任さん 46歳・外旭川)

1歳の息子を連れて、雄物川の火花を見てきました。火花が上がって歓声があがると、息子も一緒に拍手をして楽しんでいました(ちゅんママさん 22歳・將軍野)

近所の下水工事も終わって静かな盆になりましたが、この暑さには初盆の主人もびっくりにしていると思います(渡辺伊沙さん 78歳・旭北)

夫の転勤で、鶴岡、盛岡、青森、大館を回り、9年ぶりにやっと秋田のわが家に戻ってきました。庭に作った小さな畑でキュウリ、ミニトマト、ニラがたくさん採れ、漬物やみそ汁に大活躍です(成田優)

地域の話 おしえて!!

新屋の高齢者交流会「ゆう・ゆうサロン」 笑顔と元気と友だちいっぱい!

毎月1回、西部公民館で開かれている「ゆう・ゆうサロン」。高齢者が多くの人たちと親しみながら元気に暮らせるよう、新屋地区の社会福祉協議会や民生委員、婦人会、保健推進員などが協力して行っています。

「スタッフが特技を活かして講師になるなど、限られた予算で楽しいことをたくさんできるように頑張っています」とスタッフの海風久美子さんが話すとおりの、体操や塗り絵、血圧測定など会の内容はさまざまです。8月24日のうどん打ちでは、32人の参加者のほとんどが初体験。生地をめん棒でのばす作業では、なかなかうまくのびてくれず、悪戦苦闘の連続。ようやくのばした生地を切るときも、麺の太さがそろわず、「きしめんとそうめんみたい」の声にみんな大爆笑! 今回も笑顔が絶えないサロンでした。



毎月下旬の金曜日に開催。詳しくはサロン代表の 野トヨさんへ。tel(828)3617



「太さをそろえるの、難しいわね~」



おしゃべりかわらばん



9月1日・2日、大町周辺で行われた「ザ・パワーオブミュージック」。さまざまなジャンルの熱い演奏がストリートで繰り広げられました。

家族バンドで演奏披露

小4の息子がドラムを始めたのをきっかけに、今年5月に家族でバンドを結成。夫はギター歴30年ですが、私(澄香さん)は歌もベースも初心者なんです。今日は盛り上がりすぎて楽しかったし、家族の仲も深まりました。

パワーオブミュージックに参加した黒沢澄香さん、圭哉くん、圭則さん(飯島)

夜も楽しい動物園

お馬さんと牛さんに、晩ご飯のニンジンと牧草をあげたよ。ぱくぱくーってすごい勢いで食べるからちょっと怖かったけど、いっぱい食べてくれてうれしかった！次はペンギンさんにエサをあげてみたいな。



夜の動物園でエサやり体験をした福井心途(むねと)くん(5歳)

健康の秘けつです

太平山のグラウンドゴルフ場のコースは、起伏があるなど特徴があって面白いです。山に囲まれ、空気がきれいでき持ちいいですよ。グラウンドゴルフを始めてから、ごはんがおいしいし、よく眠れます！元気のもとですね。



太平山リゾートまつりでグラウンドゴルフを楽しんだ三浦正男さん(仁井田)

国体「デモスポ行事」に参加！

最高の生涯スポーツ

チーム11人の息を合わせ号令役を初めて務め、とても緊張しましたが、納得のできでした。太極拳は年齢に合わせてできる、まさに生涯スポーツ。誰にでもおすすめできますよ。



太極拳の「入門・初級」に出場した渡邊庸子さん(高陽)

魅せられて15年

春にケガをして練習不足でしたが、デッドリフトで220kgと、思ったより良い記録が出せました。健康のために始めて15年。競技を通じて友人もたくさんでき、生涯の趣味になっています。



パワーリフティングに出場した高橋光春さん(飯島)

子さん 54歳・外旭川) 家庭ごみの日、夜に置かれたごみをカラスが散らかします。夜に出すのはやめてもらいたいと思います(中田ヨシ子さん 72歳・土崎) 戦争中、戦艦「長門」を退艦し、八丈島勤務となった。5月ごろ、60人の部隊で無人島に上陸した。何といても苦しんだのは食料と水であった。特に水は、雨水だけが頼りであった。終戦となり、八丈島に帰って飲料水にありついたら、今でも思い出される(若松長吉さん 83歳・榎山)

係からひとこと 他県から多くの観光客が集まるイベントを取材すると、仕事柄、観光客のかたから質問を受けます。「会場には、どう行けばいいの?」という基本的なものから、「秋田美人と言われる条件は?」という難解なものまでさまざま。どうにか答えて、お客様それぞれの出身の方言で感謝された時は、ほっとします。 さて、秋田わか杉国体が9月29日に開幕します。多くのかたが来桌しますが、どのような奇問難問が待ち受けているでしょうか? 仕事で得た知識と、とっておきの笑顔でもてなしたいと思



(悟)



土崎図書館入館200万人!

8月9日、土崎図書館が入館者200万人を達成しました。記念すべき200万人目は佐藤瑞紀さん(左)と瑠紀さん。「自分たちが入館200万人目になるなんてびっくり! 土崎図書館には姉妹で勉強しに来ることが多いです。涼しいので勉強もはかどります」



勝平得之作品を国体選手に

8月29日、勝平得之ファンクラブから、勝平得之の「版画50選」125部と「秋田の四季」「画文集」325セットが寄贈されました。この作品集は、わか杉国体・わか杉大会に来る全国の選手団に贈ります。勝平作品を見て、秋田に親しみを感じてほしいですね。